日本書道史

第13講「学書理論と資料収集」

住川 英明（岐阜女子大学）

第13講「学書理論と資料収集」

【学習到達目標】

- 比田井天来の学書理論のあらましを「実用書と芸術書」の観点から説明することができる.
- 中村不折らによる書道資料の収集とその紹介について，出版された図書等から説明することができる.

第13講「学書理論と資料収集」

1．書壇の形成と競書雑誌

- 書道雑誌の始まりは，明治時代の終わりの『斯華の友』である．以後書道団体が次々に生まれ，書道雑誌の発刊が相次いだ.
- 大正時代に入ると，書道団体の設立が盛んになり，離合集散を繰り返しながら，流派を超えて研究活動や展覧会活動，あるいは会誌の発刊ということが行われるようになった.

第13講「学書理論と資料収集」

1．書壇の形成と競書雑誌

- 書壇のヒエラルキー構造を支えるのは，大小の団体展を開催する展覧会活動とその展覧会における序列的階層の存在である．
- もう1つは，会員の日常的な研鑽の場であり，中央・地方の区別なくその活動を確実につないでいく，会派（社中）ごとの競書雑誌の発刊とその選書システムの存在である．

第13講「学書理論と資料収集」

1．書壇の形成と競書雑誌

- 「競い合い」をベースにしたヒエラルキー構造が確立していたからこそ，戦争の時代を挟んでも，書壇は永続することができたといえる．
- このような構造の成立には，大正時代以来の印刷技術の発達と郵便制度の充実が大きな役割を果たしている．

2．比田井天来による学書理論の確立

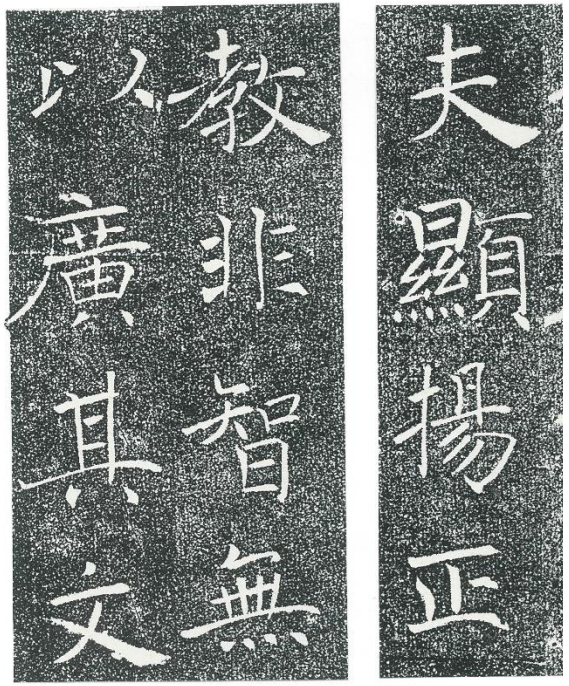
- 天来は，古典臨書による学書理論を確立し，書芸術の可能性を広げて，多方面にわたる俊英を育成した．⇒「近代書道の父」
- 書学院を設立し，碑版法帖を中心とする書の古典の収集と整理に努め，複製や臨書を数多く出版して，学書の方法論をわかりやすいかたちで提示した．⇒『学書筌蹄』（1921）

第13講「学書理論と資料収集」

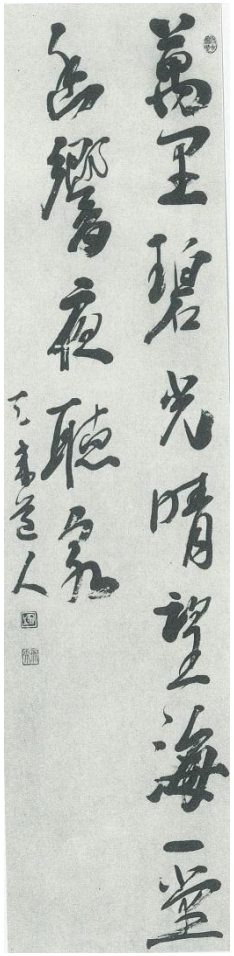
2. 比田井天来による学書理論の確立

- 明治から大正にかけての時代は，日常の中から筆硯的感覚が徐々に消滅していく時期にあたり，書くことの「用」と「美」が分離していく過渡期にあった.
- 天来は文字を書くことにおける「美」を抽出し，「実用書」と「芸術書」とを的確に定義づけることを企てた.
- 象徴的に使用するのは「筆勢」と「筆意」の語であり，芸術書を規定するものとして，筆意の存在を強調する.

第13講「学書理論と資料収集」



比田井天来《臨雁塔聖教序記》



比田井天来《七言二句》

第13講「学書理論と資料収集」

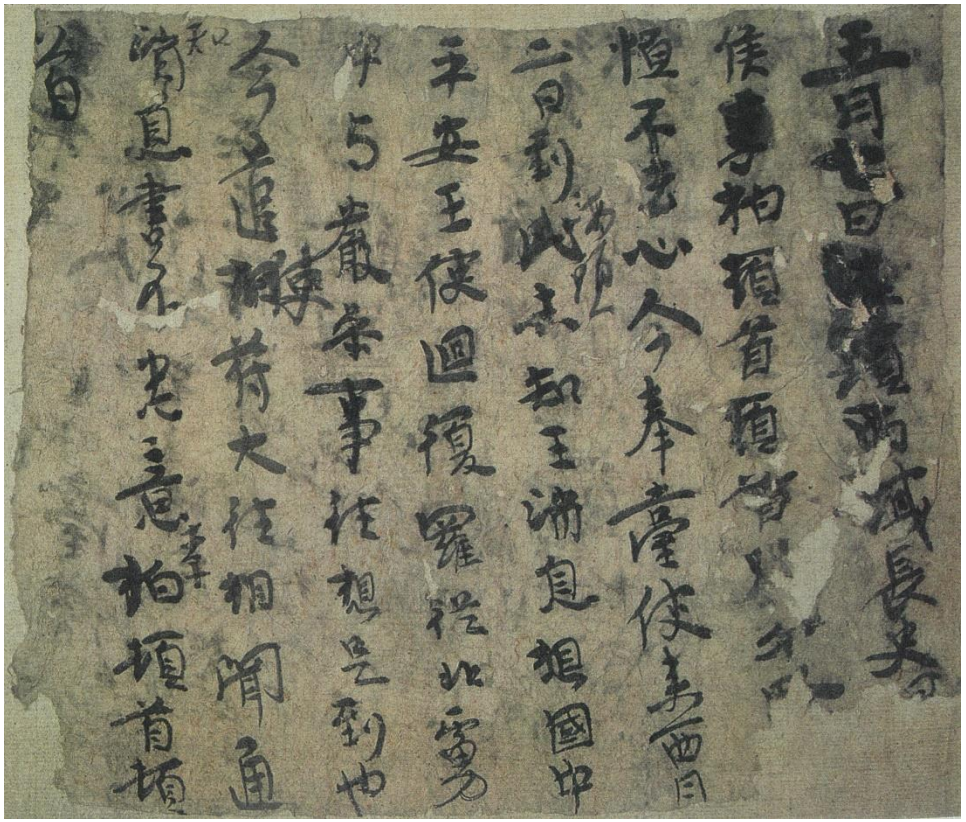
2. 比田井天来による学書理論の確立

- 何となれば芸術は本来作り物である以上は，不経意にして出来る筈はないのである.
- 無意味の点画を造らないやうに無意味の結体をなさないやうに筆を下すときには必ず或る意味を持たせるのである.
- 書には筆意又は結体に是非とも奇なる処が無ければならぬ，併しながら奇を弄した痕跡が有つては却て見にくゝなるから，それを手際よく折合せなければならぬ.

3. 書道資料の収集と出版の盛行

- 天来は，松田南溟とともに，木簡・残紙資料の整理・研究に励んだ.
- 20世紀初めには，中国から新たな文物が陸続と発掘・発見され，わが国にも多くの文物が将来された.
- 西本願寺の大谷光瑞は，探検隊を組織して西域を訪れ，魏晋から唐代に至る数多くの文物を持ち帰った.

第13講「学書理論と資料収集」



《李柏文書》

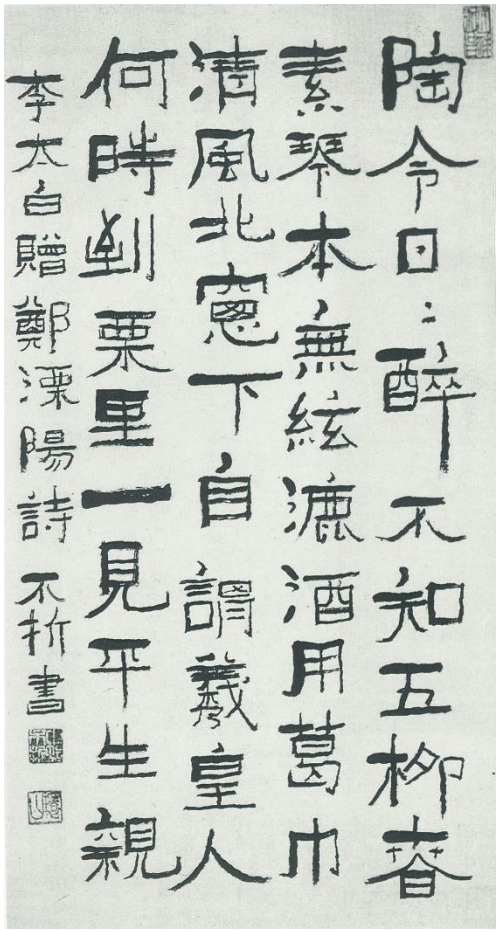
『敦煌出土漢晋簡牘』

第13講「学書理論と資料収集」

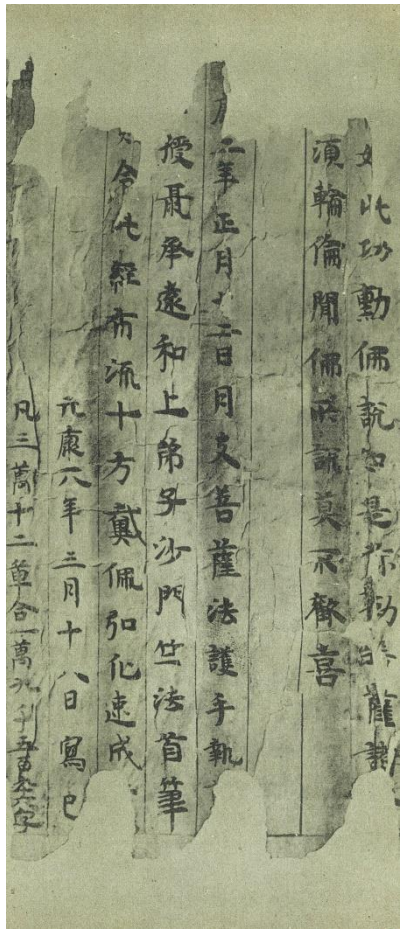
3．書道資料の収集と出版の盛行

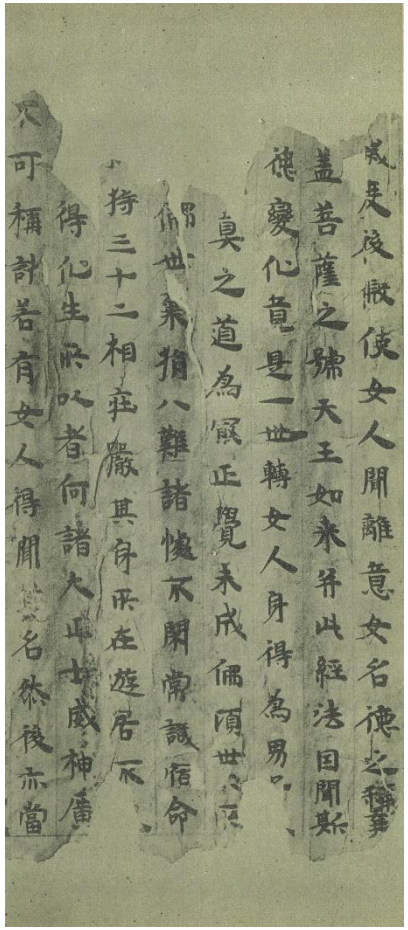
- 中村不折は，「書道博物館」でコレクションを一般に公開し，出版物を通して世に広く知らせた．彼はその著書で，再三にわたり，真跡（肉筆）の大切さを力説している．
- 不折は，康有為『広芸舟双楫』を井土霊山とともに翻訳し，『六朝書道論』として刊行して，北碑尊重の思潮の拡大にも努めた．
- 書道資料の出版と普及は，その後の史的研究の基盤を作るとともに，書の愛好者の書技，あるいは鑑識・鑑賞眼の向上に大きな役割を果たした．

第13講「学書理論と資料収集」



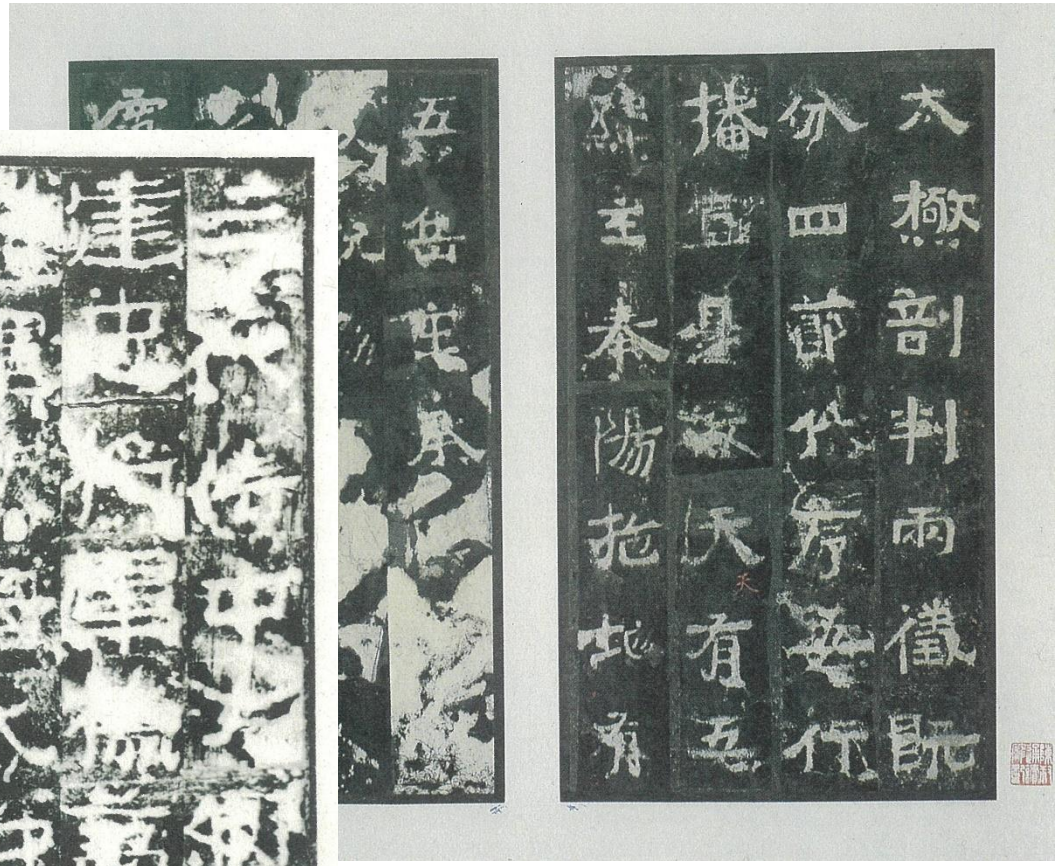
中村不折《李白詩》



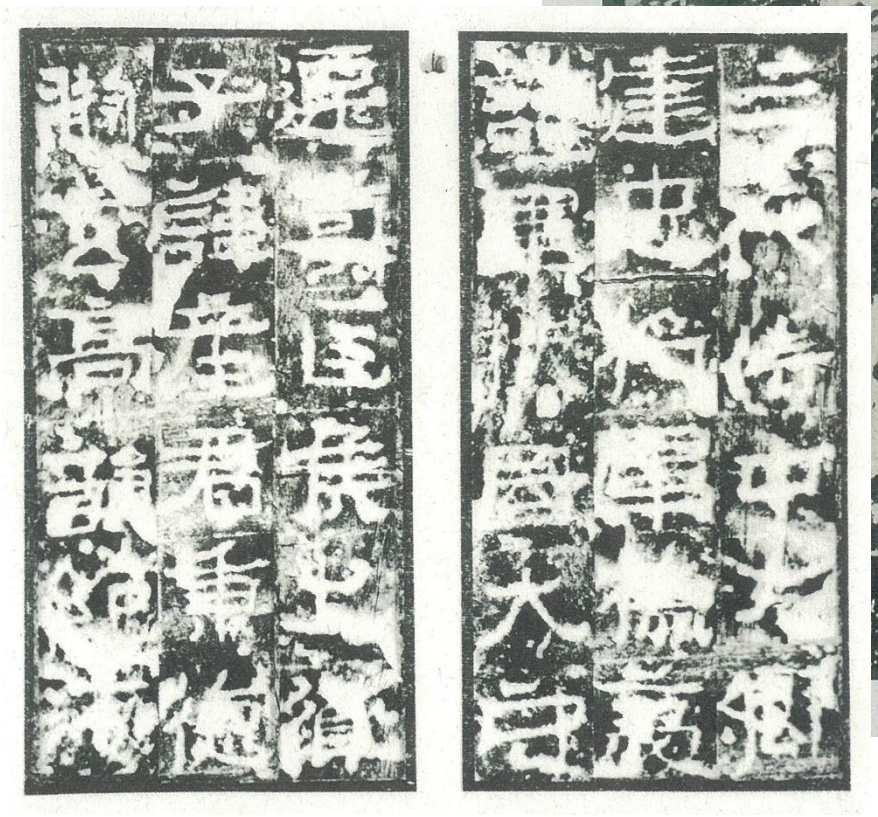


《諸仏要集経》

第13講「学書理論と資料収集」

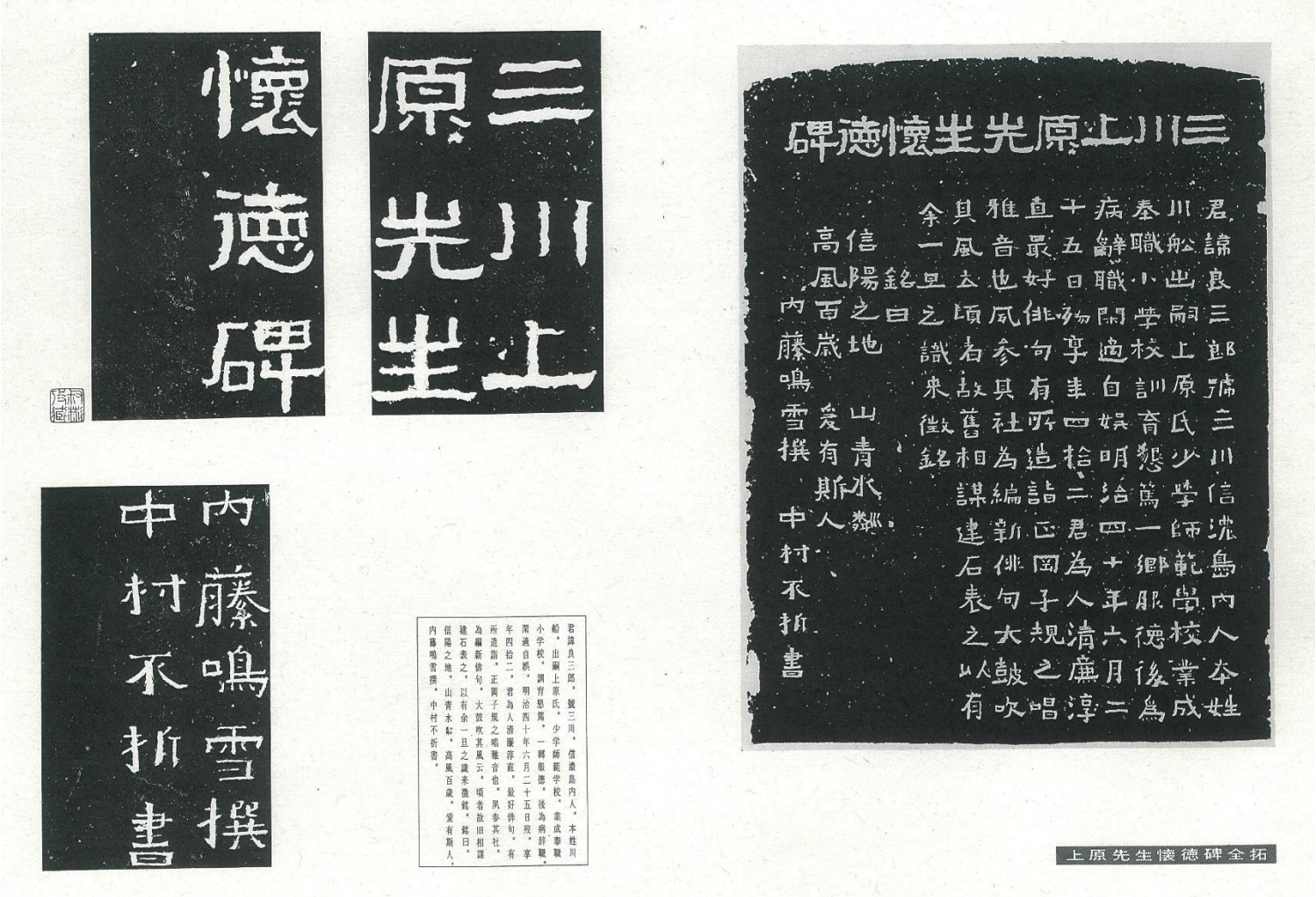


《中岳嵩高霊廟碑》



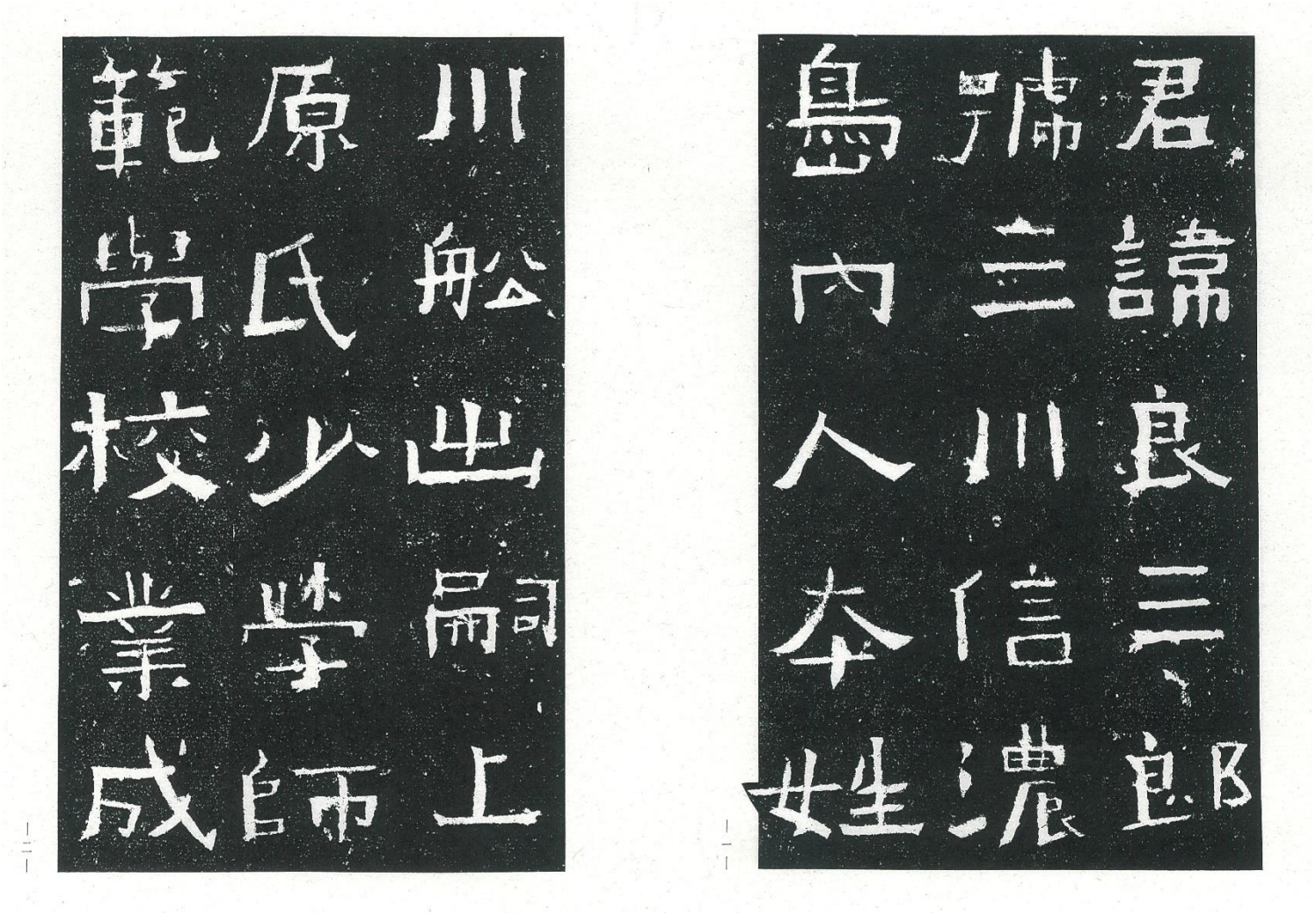
《広武将軍碑》

第13講「学書理論と資料収集」



中村不折《上原先生懷德碑》

第13講「学書理論と資料収集」



中村不折《上原先生懐徳碑》

課　題

１．競書雑誌による学書システムの功罪について，考察しなさい.

第13講「学書理論と資料収集」

【学習到達目標】

- 比田井天来の学書理論のあらましを「実用書と芸術書」の観点から説明することができる.
- 中村不折らによる書道資料の収集とその紹介について，出版された図書等から説明することができる.

日本書道史

第13講「学書理論と資料収集」

住川 英明（岐阜女子大学）